

2027 年 度

名古屋大学大学院工学研究科
博士前期課程学生募集要項

2026年4月

名古屋大学大学院工学研究科

本研究科における入学試験では、出願前にインターネット出願サイト内のマイページ登録が必要です。時間に余裕を持って出願を行うとともに、インターネット出願時に登録されたメールアドレスには、大学から入学試験に関する重要なお知らせが配信されますので、変更や削除の可能性がなく、日常的に確認できるメールアドレスを準備してください。

◇専攻案内について

本募集要項への掲載内容の他、系（専攻）単位で入試の出願範囲、入試説明会、事前連絡その他受験に際しての注意事項等を定める場合があります。

出願に先立ち、志望する系（専攻）の専攻案内及び専攻ウェブサイトを必ず確認して下さい。

（専攻案内の入手方法）

<https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/prospective/doc/attention2.pdf>

◇工学研究科アドミッション・ポリシー

〈入学者受入れの方針〉

高度な専門力や総合力の修得に必要な基礎学力をもち、最先端の工学を探究・実践する意欲のある人を求めます。

〈選抜の基本方針〉（合否判定の基準）

入学者受入れの方針にしたがって、各専攻において、筆記試験、口頭試問、提出書類等により、語学力を含む基礎学力、専門知識に加え、工学への探究心と意欲の審査を行い、総合的に評価し、選抜します。

◇自然災害等の不測の事態が発生した場合の諸連絡

自然災害等に伴い、試験日程や選抜内容等に変更が生じる場合があります。この場合、次のホームページにより周知しますので、出願前や受験前は特に注意してください。

○工学研究科ホームページ

<https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/>

◇安全保障輸出管理に係る手続きについて

名古屋大学（東海国立大学機構）では、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理制度により、「東海国立大学機構安全保障輸出管理規程」（以下「規程」という。）を定め、貨物の輸出、技術の提供（人の受入を含む）について厳格な審査を実施しております。規程に抵触する場合は、入学試験の選抜に合格しても入学が認められない又は入学後の研究活動等に制限がかかることがありますので、ご留意ください。詳細については、以下のウェブサイトを参照願います。

なお、該当者には、個別に通知します。また、この場合も既納の検定料は返還しません。

<https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/securityexport-extramural>

※日本国籍の方を含めて、出願者全員「類型該当性の自己申告書」の提出が必要になります。

※類型に該当する対象者については、該当性を判断する根拠となるエビデンス資料について出願書類とあわせてご提出ください。

※一部の学生においては、入学手続き時に「誓約書」の提出が必要となる場合があります。

※出願書類として求められる文章等を生成 AI により作成することは認めません。

目 次

1 出 願 資 格	1
2 募 集 人 員	2
3 選 抜 方 法	2
4 出 願 手 続	3
5 インターネット出願の流れ	4

【筆記試験免除者選抜】

A-6 出 願 期 間 等	8
A-7 出 願 書 類 等	8
A-8 入学検定料について	11
A-9 受 験 票	12
A-10 選 抜 概 要	12
A-11 試 験 会 場	13
A-12 合 格 者 発 表	13
A-13 入 学 手 続	13
A-14 学 生 納 付 金	13
A-15 そ の 他	13

【一般選抜】

B-6 出 願 期 間 等	14
B-7 出 願 書 類 等	14
B-8 入学検定料について	17
B-9 受 験 票	17
B-10 選 抜 概 要	17
B-11 試 験 会 場	22
B-12 合 格 者 発 表	22
B-13 入 学 手 続	22
B-14 学 生 納 付 金	22
B-15 そ の 他	22

【各選抜共通】

16 個人情報等の取扱い	23
--------------------	----

17 卓越大学院プログラムについて	23
18 入学試験に関する照会先	23
◎ 出願資格(9)により出願する者について	25
◎ 出願資格(10)により出願する者について	27
◎ 2027 年度 名古屋大学大学院工学研究科概要	28

2027 年度 名古屋大学大学院

工学研究科博士前期課程学生募集要項

1 出 願 資 格

次の項目のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び 2027 年 3 月末日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者及び 2027 年 3 月末日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月末日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月末日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2027 年 3 月末日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2027 年 3 月末日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）又は専攻科（当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程（法第 125 条の 2 第 1 項に規定する特定専門課程をいう。）における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (9) 2027 年 3 月末日までに大学に 3 年以上在学し、本研究科が、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者（ただし、上記資格（1）該当者及び高等専門学校等からの編入学者は除く） ※詳細は 25 頁参照
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027 年 3 月末日までに 22 歳に達する者 ※詳細は 27 頁参照

※高等専門学校専攻科を修了見込みの者は、5 月 1 日（金）までに、出願資格等について 23 頁の照会先まで問い合わせること。

2 募 集 人 員

系	専 攻	募 集 人 員 (名)
化 学 生 命 工 学	有 機 ・ 高 分 子 化 学	34
	応 用 物 質 化 学	34
	生 命 分 子 工 学	28
物 理 工 学	応 用 物 理 学	39
	物 質 科 学	39
マ テ リ ア ル 工 学	材 料 デ ザ イ ン 工 学	34
	物 質 プ ロ セ ス 工 学	35
	化 学 シ ス テ ム 工 学	34
電 気 電 子 情 報 工 学	電 気 工 学	34
	電 子 工 学	47
	情 報 ・ 通 信 工 学	33
機 械 ・ 航 空 宇 宙 工 学	機 械 シ ス テ ム 工 学	66
	マ イ ク ロ ・ ナ ノ 機 械 理 工 学	36
	航 空 宇 宙 工 学	38
エ ネ ル ギ ー 理 工 学	エ ネ ル ギ ー 理 工 学	18
	総 合 エ ネ ル ギ ー 工 学	18
土 木 工 学	土 木 工 学	36

3 選 抜 方 法

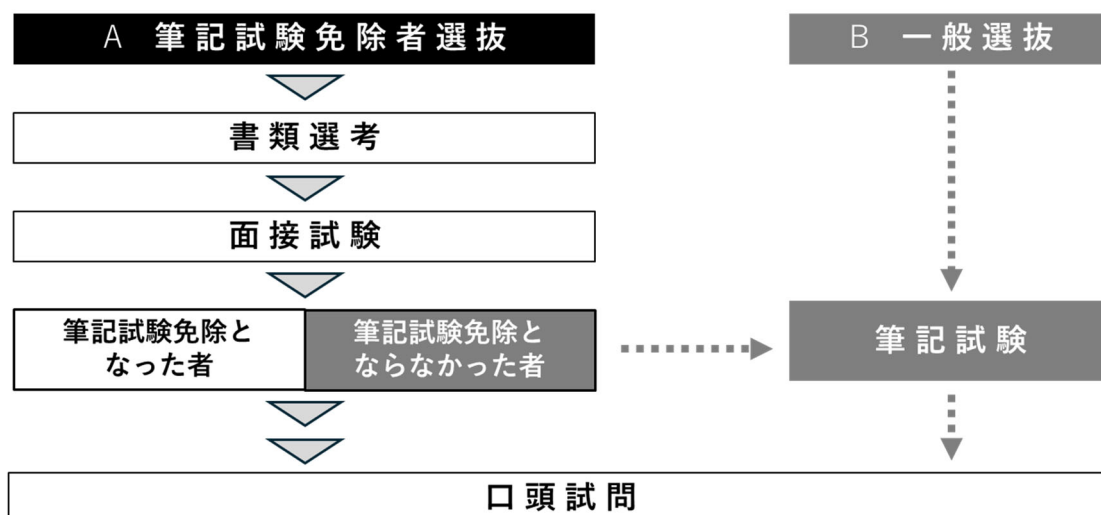
A 筆記試験免除者選抜（学業成績優秀者で、志望する専攻での勉学に高い意欲を持つ者）

書類選考及び面接試験、口頭試問により選考を行う。

B 一般選抜

筆記試験及び口頭試問により選考を行う。

選抜方法の流れ



4 出 願 手 続

指定期間内に（１）～（３）を全て行うことで完了する。

- （１）インターネット出願サイトで登録を行う。（４頁以降参照。）
- （２）入学検定料（30,000 円＋手数料）を払い込む。（詳細は 6 頁参照。）
- （３）出願書類を「簡易書留・速達郵便」により提出する。

◎注意事項

- ・ 出願書類に不備がある場合には，受け付けない。
- ・ 出願後の書類の書き換え及び返却は認めない。
- ・ 虚偽の申請や不正等の事実が判明した場合には，入学許可を取り消す場合がある。

5 インターネット出願の流れ

（次頁以降参照）

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1



事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。
早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…顔写真データ、各種証明書(※詳細は各研究科学生募集要項参照)



STEP

2



インターネット出願サイトにアクセス

インターネット
出願サイト

<https://e-apply.jp/ds/nagoya-gs/>



STEP

3



マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
出願受付期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。

STEP

4



出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②研究科の選択



③入試区分と留意事項の確認



④出願専攻等の選択



⑤顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑥個人情報(氏名・住所等)の
入力



⑦出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票、写真票、宛名シート
が確認できます。

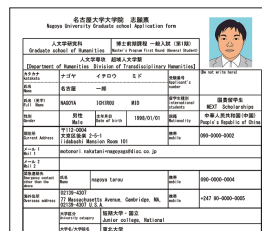


⑧申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



お支払い期限は申込日を含め4日間
です。ただし、Web出願締切がそれ
よりも早く到来する場合、Web出願締切
が期限となります。

⑨入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑩出願に必要な書類PDF
(イメージ)

※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエ
ンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁) 5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を
許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



入学検定料支払い後は、登録内容の修正・変更ができませんので、入学検定料支払い前に必ず登録内容を確認し、誤りがあれば、再度登録してください。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学検定料の支払い

お支払い期限は申込日を含め4日間です。

ただし、Web出願締切がそれよりも早く到来する場合、Web出願締切が期限となります。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニに、
FamilyMart各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、
内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

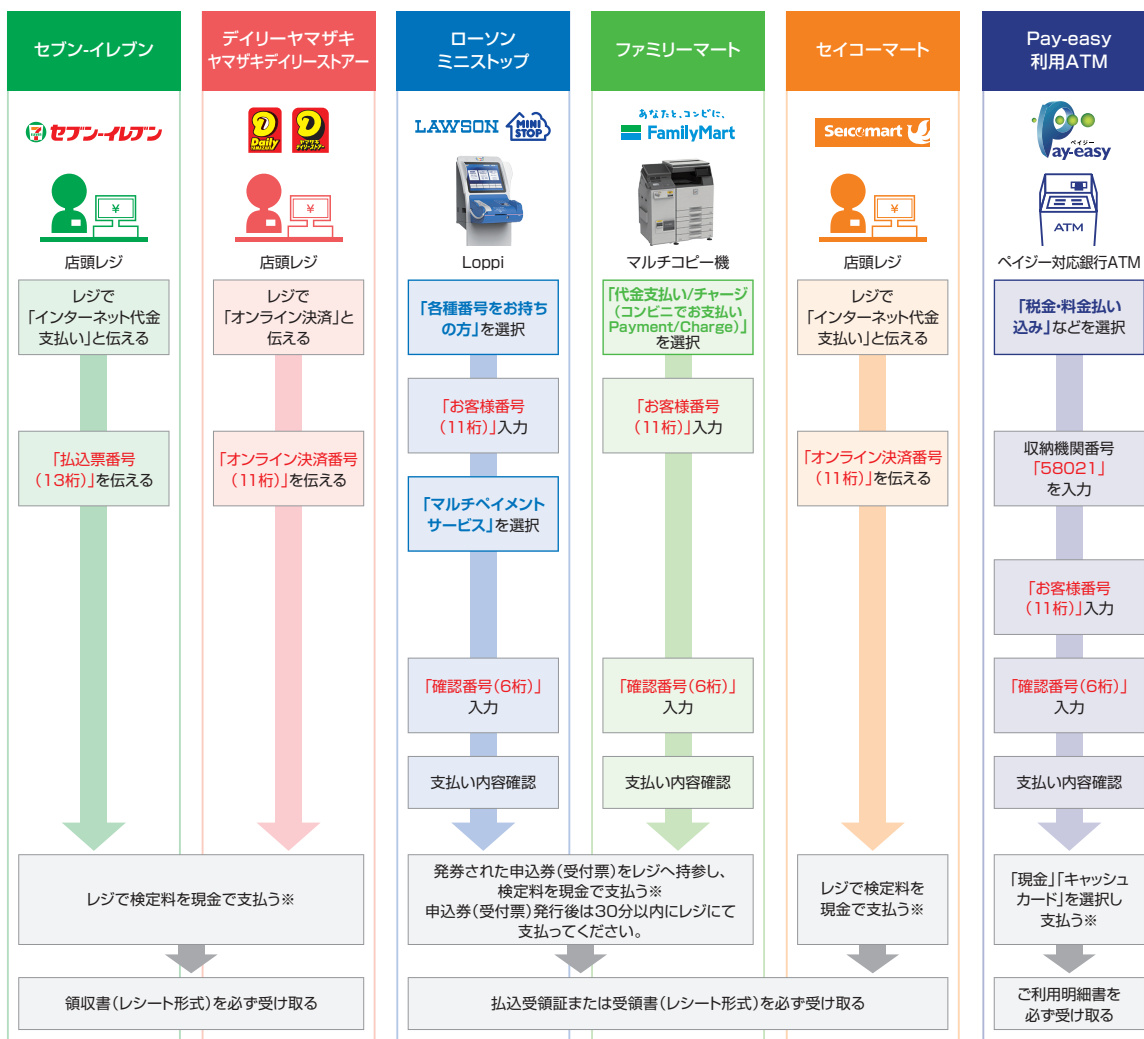
4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

6



必要書類の印刷と郵送

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を全て**カラー印刷**し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「簡易書留・速達郵便」で郵送してください。

出願に必要な書類

⚠ 募集要項を必ず確認してください

- インターネット出願サイトから印刷する書類
志願票 写真票
- 本学研究科のホームページからダウンロードし、作成する書類
履歴書 など
- 出身大学等に発行を依頼する証明書
証明書



出願書類提出用宛名シート

市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に貼り付けて作成

出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は学生募集要項を参照してください。

※一旦受理した入学検定料・必要書類は学生募集要項で明記しているものを除き一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。インターネットでの登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

それぞれの期限は各研究科の学生募集要項を参照してください。

インターネット出願は24時間可能です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7



受験票の印刷

出願を受け付けた後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスへ通知します。メールが届かない場合でも、試験前日までにインターネット出願サイトにログインし、各自で**A4用紙にカラー片面印刷**をして**試験当日に持参**してください。



受験票

氏名: ○○○○
入試: ×××入試

【A 筆記試験免除者選抜】

※一般選抜の受験を希望する者は 14 頁以降を参照すること。

※出願資格（9）の者は一般選抜に出願すること。

A－6 出 願 期 間 等

①インターネット出願登録期間

2026 年 5 月 18 日（月）から 6 月 4 日（木）14 時 59 分まで

②入学検定料払込期間

2026 年 5 月 18 日（月）から 6 月 4 日（木）14 時 59 分まで

③願書郵送受付期間

2026 年 6 月 1 日（月）から 6 月 4 日（木）まで

国内からの郵送：最終日消印有効／海外からの郵送：最終日必着

A－7 出 願 書 類 等

出願書類等の様式は、インターネット出願サイト及び工学研究科ホームページよりダウンロードできる。A4 サイズに片面カラー印刷し、指定箇所を黒のボールペンで記載すること。

【I 全員提出が必要】

① 志願票	・入力内容について、十分に確認すること。
② 工学研究科 博士前期課程 入学志願票	・志望系内の専攻全てに順位を付けること。
③ 志願票別紙履歴 ※出願資格(3)～(10)に より出願する者のみ	・履歴は古いものから、空白期間のないように記載すること。 ・申請者署名欄は自筆で署名すること。
④ 写真票	・写真データは、出願前 3 か月以内に撮影したもの、正面向き、上半身、 無帽、背景なしのものを使用すること。 ・「研究科指定欄」は空欄のまま提出すること。
⑤ 学修希望調書	・「筆記試験免除希望者用」を使用すること。
⑥ TOEFL または TOEIC の スコアシート ※電気電子情報工学系 3 専攻の志願者は不要	・所定用紙に TOEFL または TOEIC のスコアシートを貼付すること。 ・2024 年 6 月 1 日以降に実施された TOEFL/TOEIC のスコアのみ有効とする。 ・外国語（英語）については、筆記試験を実施せず、TOEFL 又は TOEIC のスコアで評価する。スコアシートを提出しない場合は、出願は可能であるが、 外国語（英語）については評価されない。 <u>〔TOEIC スコアを提出する場合〕</u> TOEIC のスコアシートは TOEIC Listening & Reading Test の原本 (Official Score Certificate) のみ有効とする。（ただし、「Official Score

	Certificate」を発行していない国の場合は、「Official Score Report」及び「Certificate of Achievement」の両方を提出することで原本の提出があったものとする。） 〔TOEFL スコアを提出する場合〕 iBT（Internet-based Test）（Home Edition を含む）のスコアを有効とし、以下の①と②の両方の提出が必要となる。 ①公式スコア「Institutional Score Report」 または「Official Score Report」 ②受験者に届く「Test Taker Score Report」のコピー 1) 「Institutional Score Report」又は「Official Score Report」は、出願期間最終日までに ETS から名古屋大学に届くように所定の手続きをすること。 （手続き時に名古屋大学の Institution Code : D377, Department Code : 69 Engineering, other を指定すること。） 到着が遅れる場合もあるので、十分な時間的余裕を持って TOEFL を受験すること。 2) 「Institutional Score Report」を提出する場合は、「Test Date Scores」のみを活用する（「MyBest® スコア」は採用しない。） 3) 出願書類提出時に「Test Taker Score Report」のコピーを提出すること。 4) ①と②のいずれか一方でも出願期間内に到着しなかったときは、スコアシートの提出はなかったものとして扱う。
⑦ 長形 3 号封筒 3 通	・海外在住者は提出不要。 ・所定の封筒貼付用紙に住所及び氏名を記入し、各封筒に貼付すること。
⑧ 角型 2 号封筒 1 通	・海外在住者は提出不要。 ・所定の封筒貼付用紙に住所及び氏名を記入し、封筒に貼付すること。
⑨ 類型該当性の 自己申告書	・所定用紙に必要事項を記入し、提出すること。 ・類型の①～③に該当する場合のみ、別紙フローチャート及び「エビデンス資料」も提出すること。
⑩ 在留カードの 両面コピー または 住民票の写し ※外国籍の者のみ	・「住民票の写し」は、在留資格及び在留期間が記載されたものを提出すること。 ・出願時に提出ができない者は、パスポートのコピー（顔写真があるページ）を提出し、入学手続き時に左記のうちいずれかを提出すること。
⑪ 国費留学生証明書 ※国費留学生のみ	・名古屋大学以外において出願時に国費留学生の者は提出すること。 ・在籍大学が発行したものとし、原本を提出するものとする。

【Ⅱ 外国の大学を卒業した者及び卒業見込みの者(本学工学部または本学工学研究科研究生で研究生入学時に証明書の原本を提出済みの者を除く)は、Ⅰ(①～⑪)に加えて、以下の書類(⑫～⑭)が必要。】

⑫ 成績証明書	・ 原本（オリジナル）を提出すること。原則、コピーやPDFデータ等の提出は認めない。 ・ 大学または公証処等が発行した証明書を提出すること。 ・ 出願時点で大学を卒業している場合は、卒業日以降に発行された成績証明書を提出すること。 ・ 日本語または英語以外で作成されている場合は、日本語または英語の訳文を添付すること。この場合、翻訳日及び翻訳者の氏名を訳文に記載すること。
⑬ 卒業（見込）証明書及び 学位取得証明書	・ 原本（オリジナル）を提出すること。原則、コピーやPDFデータ等の提出は認めない。 ・ 大学または公証処等が発行した証明書を提出すること。 ・ 卒業証明書等で学位取得が確認できる場合は、学位取得証明書の提出は不要。 ・ 日本語または英語以外で作成されている場合は、日本語または英語の訳文を添付すること。この場合、翻訳日及び翻訳者の氏名を訳文に記載すること。
⑭ 出身大学における各 所属学科等の卒業要件、 進級要件、授業科目一覧、 GPA 算出方法が確認できる 書類の写し	・ 工学研究科ホームページに掲載されている出願書類一式内の表紙資料に従い、各書類の写しを提出すること。 ・ 左記の内容が確認できるものであれば、写し元の種別は問わない。 ・ 日本語または英語以外で作成されている場合は、日本語または英語の訳文を添付すること。この場合、翻訳日及び翻訳者の氏名を訳文に記載すること。

【Ⅲ 日本の大学（名古屋大学工学部を除く）を卒業した者及び卒業見込みの者は、Ⅰ(①～⑪)に加えて、以下の書類(⑫～⑭)が必要。】

⑫ 成績証明書	・ 原本（オリジナル）を提出すること。原則、コピーやPDFデータ等の提出は認めない。 ・ 現在在籍の大学に編入学した者は、編入前の教育機関における成績証明書も併せて提出すること。 ・ 氏名変更等により、証明書記載の氏名と現在の氏名が異なる場合は、氏名の変更履歴が記載された戸籍抄本等を併せて提出すること。
⑬ 卒業（見込）証明書	・ 原本（オリジナル）を提出すること。原則、コピーやPDFデータ等の提出は認めない。 ・ 氏名変更等により、証明書記載の氏名と現在の氏名が異なる場合は、氏名の変更履歴が記載された戸籍抄本等を併せて提出すること。

⑭ 出身大学における各所属学科等の卒業要件、進級要件、授業科目一覧、GPA 算出方法が確認できる書類の写し	・工学研究科ホームページに掲載されている出願書類一式内の表紙資料に従い、各書類の写しを提出すること。 ・左記の内容が確認できるものであれば、写し元の種別は問わない。 ・現在在籍の大学に編入学した者は、編入前の教育機関におけるものも併せて提出すること。
---	---

【Ⅳ 出願資格（２）により出願する者は、Ⅰ（①～⑪）に加えて⑫～⑮が必要。】

⑫ 成績証明書	・原本（オリジナル）を提出すること。原則、コピーや PDF データ等の提出は認めない。 ・出願時点で当該学校を修了している場合は、修了日以降に発行された成績証明書を提出すること。 ・高等専門学校専攻科在籍者及び修了者は、本科及び専攻科の両方の成績証明書を提出すること。
⑬ 卒業（見込）証明書 または 修了（見込）証明書	・原本（オリジナル）を提出すること。原則、コピーや PDF データ等の提出は認めない。 ・氏名変更等により、証明書記載の氏名と現在の氏名が異なる場合は、氏名の変更履歴が記載された戸籍抄本等を併せて提出すること。
⑭ 出身大学における各所属学科等の卒業要件、進級要件、授業科目一覧、GPA 算出方法が確認できる書類の写し	・左記の内容が確認できるものであれば、写し元の種別は問わない。 ・高等専門学校専攻科在籍者及び修了者は、専攻科のものを提出すること。
⑮ 学士の学位取得証明書	大学評価・学位授与機構に学士の学位を申請する予定の者は、学校長名の学位取得申請予定である旨の証明書を提出すること。

A－８ 入学検定料について

入学検定料 30,000 円に支払手数料を加算した金額をインターネット出願サイトの指示により払い込むこと。

筆記試験免除者選抜を受験し、筆記試験が免除とならなかった場合でも、再度、一般選抜の出願のため入学検定料を払込む必要はない。

出願書類受理後は、納入済み入学検定料の返還には応じないが、次に該当する場合は該当者の申し出に応じ、返還対応を行う。返還方法は指定口座への振込とし、振込手数料は志願者負担とする。

- ・出願しなかった、または、出願書類が受理されなかった場合。
- ・二重に払い込んだ場合。

検定料返還に係る請求については、次のホームページを参照すること。

名古屋大学受験生応援サイト (<https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/>)

→「入試情報を知りたい」→「大学院入試」→「入学検定料の支払い」

※検定料返還を受ける場合は 2026 年 8 月 28 日（金）までに、工学部・工学研究科教務課入学試験係まで申し出ること。返還金の振込には手続きから約 2～3 か月を要する。

A—9 受 験 票

2026 年 6 月 19 日（金）に、メールにて通知する。メールの案内に従い、インターネット出願サイトからダウンロードし、A4 判用紙にカラー片面印刷をすること。

A—10 選 抜 概 要

書類選考及び面接試験で筆記試験免除者を決定する。（筆記試験免除選抜に出願した者は、筆記試験免除の結果にかかわらず、再度、一般選抜に出願する必要はない。）

書 類 選 考	
・ 6 月中旬に実施する。 ・ 結果は 6 月 25 日（木）に出願登録時の住所あてに発送する。	
↓	
面 接 試 験	
・ 書類選考通過者を対象に、7 月 18 日（土）に実施する。 ・ 面接試験の案内は、書類選考の結果通知に同封する。 ・ 結果は 7 月 23 日（木）に出願登録時の住所あてに発送する。	
↓ ↓	
筆記試験が <u>免除となった</u> 場合	筆記試験が <u>免除とならなかった</u> 場合
<u>一般選抜者と同様に口頭試問を受験する。</u> 口頭試問の案内については、面接試験の結果通知に同封する。	<u>一般選抜（筆記試験及び口頭試問）を受験する。</u> <u>（14 頁以降を参照すること。）</u> TOEIC/TOEFL スコアシートの取扱いは次のとおりとする。 ・ 電気電子情報工学系 3 専攻の志願者は、7 月 29 日（水）17 時までに当該スコアシートを工学部教務課入学試験係あて提出すること。提出方法は前述の「I」の「⑥」を参照すること。 ・ 電気電子情報工学系 3 専攻以外の志願者は、7 月 29 日（水）17 時までスコアシートの再提出を認める。

	・ TOEIC は 5 月 31 日（日）実施分、TOEFL は 7 月 3 日（金）発行済分までのスコアを有効とする。 ・ 郵送の際には、工学部・工学研究科教務課入学試験係あてに簡易書留郵便で発送し、封筒表左下に「スコアシート在中」と朱書きすること。
--	--

A—11 試 験 会 場

名古屋大学東山キャンパス（詳細は追って通知する。）

A—12 合 格 者 発 表

2026 年 9 月 4 日（金）正午

工学研究科ホームページに合格者の受験番号を掲示し、結果通知を本人宛に発送する。

合格者には入学意思確認の書類や奨学金関係の案内を同封する。

特に、入学意思確認に係る書類は 9 月下旬頃までに提出が必要であるため留意すること。

A—13 入 学 手 続

2027 年 3 月上旬までに通知する。手続きは郵送により行う予定である。

入学手続き期間は 2027 年 3 月上旬から同月中旬までを予定している。

A—14 学 生 納 付 金

（1）入学料 282,000 円〔予定額〕

入学手続き時に納付する。国費留学生は納付不要。

（2）授業料 前期分 267,900 円（年額 535,800 円）〔予定額〕

入学後に口座振替（代行納付制度）により納付する。国費留学生は納付不要。

※入学時または在学中に金額の改定がある場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

A—15 そ の 他

- （1）受験上特別な配慮を必要とする者は、2026 年 5 月 8 日（金）までに 23 頁照会先まで申し出ること。8 月実施入試に係る申し出については、同年 6 月 19 日（金）までを期限とする。
- （2）名古屋大学（東海国立大学機構）では、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理制度により、「東海国立大学機構安全保障輸出管理規程」（以下「規程」という。）を定め、貨物の輸出、技術の提供（人の受入を含む）について厳格な審査を実施している。規程に抵触する場合は、入学試験の選抜に合格しても入学が認められない又は入学後の研究活動等に制限がかかることがあるため、留意すること。詳細については、以下のウェブサイトを参照すること。なお、該当者には、個別に通知する。また、この場合も既納の検定料は返還しない。

(<https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/securityexport-extramural>)

【B 一般選抜】

B－6 出 願 期 間 等

①インターネット出願登録期間

2026 年 6 月 15 日（月）から 7 月 3 日（金）14 時 59 分まで

②入学検定料払込期間

2026 年 6 月 15 日（月）から 7 月 3 日（金）14 時 59 分まで

③願書郵送受付期間

2026 年 6 月 29 日（月）から 7 月 3 日（金）まで

国内からの郵送：最終日消印有効

海外からの郵送：最終日必着

B－7 出 願 書 類 等

出願書類の様式は、インターネット出願サイト及び工学研究科ホームページよりダウンロードできる。A4 サイズに片面カラー印刷し、指定箇所を黒のボールペンで記載すること。

【I 全員提出が必要】

① 志願票	・入力内容について、十分に確認すること。
② 工学研究科 博士前期課程 入学志願票	・志望系内の専攻全てに順位を付けること。
③ 志願票別紙履歴 ※出願資格(3)～(10)により出願する者のみ	・履歴は古いものから、空白期間のないように記載すること。 ・申請者署名欄は自筆で署名すること。
④ 写真票	・写真データは、出願前 3 か月以内に撮影したもの、正面向き、上半身、無帽、背景なしのものを使用すること。 ・「研究科指定欄」は空欄のまま提出すること。
⑤ 学修希望調書	・「一般選抜試験用」を使用すること。
⑥ TOEFL または TOEIC の スコアシート	・所定用紙に TOEFL または TOEIC のスコアシートを貼付すること。 ・2024 年 6 月 1 日以降に実施された TOEFL/TOEIC のスコアのみ有効とする。 ・外国語（英語）については、筆記試験を実施せず、TOEFL 又は TOEIC のスコアで評価する。スコアシートを提出しない場合は、出願は可能であるが、外国語（英語）については評価されない。 〔TOEIC スコアを提出する場合〕 TOEIC のスコアシートは TOEIC Listening & Reading Test の原本（Official Score Certificate）のみ有効とする。（ただし、「Official Score

	Certificate」を発行していない国の場合は、「Official Score Report」及び「Certificate of Achievement」の両方を提出することで原本の提出があったものとする。） 〔TOEFL スコアを提出する場合〕 iBT（Internet-based Test）（Home Edition を含む）のスコアを有効とし、以下の①と②の両方の提出が必要となる。 ①公式スコア「Institutional Score Report」 または「Official Score Report」 ②受験者に届く「Test Taker Score Report」のコピー 1) 「Institutional Score Report」又は「Official Score Report」は、出願期間最終日までに ETS から名古屋大学に届くように所定の手続きをすること。 （手続き時に名古屋大学の Institution Code：D377, Department Code：69 Engineering, other を指定すること。） 到着が遅れる場合もあるので、十分な時間的余裕を持って TOEFL を受験すること。 2) 「Institutional Score Report」を提出する場合は、「Test Date Scores」のみを活用する（「MyBest® スコア」は採用しない。） 3) 出願書類提出時に「Test Taker Score Report」のコピーを提出すること。 4) ①と②のいずれか一方でも出願期間内に到着しなかったときは、スコアシートの提出はなかったものとして扱う。
⑦ 長形 3 号封筒 1 通	・海外在住者は提出不要。 ・所定の封筒貼付用紙に住所及び氏名を記入し、封筒に貼付すること。
⑧ 角型 2 号封筒 1 通	・海外在住者は提出不要。 ・所定の封筒貼付用紙に住所及び氏名を記入し、封筒に貼付すること。
⑨ 類型該当性の自己申告書	・所定用紙に必要事項を記入し、提出すること。 ・類型の①～③に該当する場合のみ、別紙フローチャート及び「エビデンス資料」も提出すること。
⑩ 在留カードの両面コピー または 住民票の写し ※外国籍の者のみ	・「住民票の写し」は、在留資格及び在留期間が記載されたものを提出すること。 ・出願時に提出ができない者は、パスポートのコピー（顔写真があるページ）を提出し、入学手続き時に左記のうちいずれかを提出すること。
⑪ 国費留学生証明書 ※国費留学生のみ	・名古屋大学以外において出願時に国費留学生の者は提出すること。 ・在籍大学が発行したものとし、原本を提出するものとする。

【Ⅱ 外国の大学を卒業した者及び卒業見込みの者(本学工学部または本学工学研究科研究生で研究生入学時に証明書の原本を提出済みの者を除く)は、Ⅰ(①～⑪)に加えて、以下の書類(⑫～⑬)が必要。】

⑫ 成績証明書	・ 原本（オリジナル）を提出すること。原則、コピーやPDFデータ等の提出は認めない。 ・ 大学または公証処等が発行した証明書を提出すること。 ・ 出願時点で大学を卒業している場合は、卒業日以降に発行された成績証明書を提出すること。 ・ 日本語または英語以外で作成されている場合は、日本語または英語の訳文を添付すること。この場合、翻訳日及び翻訳者の氏名を訳文に記載すること。
⑬ 卒業（見込）証明書 及び 学位取得証明書	・ 原本（オリジナル）を提出すること。原則、コピーやPDFデータ等の提出は認めない。 ・ 大学または公証処等が発行した証明書を提出すること。 ・ 卒業証明書等で学位取得が確認できる場合は、学位授与証明書の提出は不要。 ・ 日本語または英語以外で作成されている場合は、日本語または英語の訳文を添付すること。この場合、翻訳日及び翻訳者の氏名を訳文に記載すること。

【Ⅲ 日本の大学（名古屋大学工学部を除く）を卒業した者及び卒業見込みの者は、Ⅰ(①～⑪)に加えて、以下の書類(⑫～⑬)が必要。】

⑫ 成績証明書	・ 原本（オリジナル）を提出すること。原則、コピーやPDFデータ等の提出は認めない。 ・ 現在在籍の大学に編入学した者は、編入前の教育機関における成績証明書も併せて提出すること。 ・ 氏名変更等により、証明書記載の氏名と現在の氏名が異なる場合は、氏名の変更履歴が記載された戸籍抄本等を併せて提出すること。
⑬ 卒業（見込）証明書	・ 原本（オリジナル）を提出すること。原則、コピーやPDFデータ等の提出は認めない。 ・ 氏名変更等により、証明書記載の氏名と現在の氏名が異なる場合は、氏名の変更履歴が記載された戸籍抄本等を併せて提出すること。

【Ⅳ 出願資格（２）により出願する者は、Ⅰ（①～⑪）に加えて⑫～⑭が必要。】

⑫ 成績証明書	・ 原本（オリジナル）を提出すること。原則、コピーや PDF データ等の提出は認めない。 ・ 出願時点で当該学校を修了している場合は、修了日以降に発行された成績証明書を提出すること。 ・ 高等専門学校専攻科在籍者及び修了者は、本科及び専攻科の両方の成績証明書を提出すること。
⑬ 修了（見込）証明書	・ 原本（オリジナル）を提出すること。原則、コピーや PDF データ等の提出は認めない。 ・ 氏名変更等により、証明書記載の氏名と現在の氏名が異なる場合は、氏名の変更履歴が記載された戸籍抄本等を併せて提出すること。
⑭ 学士の学位取得証明書	大学評価・学位授与機構に学士の学位を申請する予定の者は、学校長名の学位取得申請予定である旨の証明書を提出すること。

B－８ 入学検定料について

入学検定料 30,000 円に支払手数料を加算した金額をインターネット出願サイトの指示により払い込むこと。

筆記試験免除者選抜を受験し、筆記試験が免除とならなかった場合でも、再度、一般選抜の出願のため入学検定料を払込む必要はない。

出願書類受理後は、納入済み入学検定料の返還には応じないが、次に該当する場合は該当者の申し出に応じ、返還対応を行う。返還方法は指定口座への振込とし、振込手数料は志願者負担とする。

- ・ 出願しなかった、または、出願書類が受理されなかった場合。
- ・ 二重に払い込んだ場合。

検定料返還に係る請求については、次のホームページを参照すること。

名古屋大学受験生応援サイト（<https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/>）

→「入試情報を知りたい」→「大学院入試」→「入学検定料の支払い」

※検定料返還を受ける場合は 2026 年 8 月 28 日（金）までに、工学部・工学研究科教務課入学試験係まで申し出ること。返還金の振込には手続きから約 2～3 か月を要する。

B－９ 受 験 票

2026 年 7 月 29 日（水）に、メールにて通知する。メールの案内に従い、インターネット出願サイトからダウンロードし、A4 判用紙にカラー片面印刷をすること。

B－10 選 抜 概 要

- ・ 入学者の選抜は、外国語（TOEIC/TOEFL スコア）及び筆記試験（基礎部門及び専門部門）並びに口頭試問に基づく評価によって行う。

- ・試験実施単位は「系」とする。「系」とは、分野の近い1～3専攻のことを言う。
- ・筆記試験及び口頭試問ともに使用言語は日本語とし、英語による出題対応は行わない。

〔試験日程〕

2026年8月18日（火）から8月21日（金）までの間で各専攻が定める日

系	専 攻	実施日	試験時間	学力試験等
化 学 生 命 工 学	有 機 ・ 高 分 子 化 学 応 用 物 質 化 学 生 命 分 子 工 学	8 月 18 日(火)	13:30-15:30	筆記試験（基礎部門）
		8 月 19 日(水)	9:00-11:00	筆記試験（専門部門）
		8 月 20 日(木)	後日通知	口頭試問
物 理 工 学	応 用 物 理 学 物 質 科 学	8 月 18 日(火)	13:30-16:30	筆記試験（基礎部門）
		8 月 19 日(水)	9:00-12:00	筆記試験（専門部門）
		8 月 20 日(木)	後日通知	口頭試問
マテリアル工学	材 料 デ ザ イ ン 工 学 物 質 プ ロ セ ス 工 学 化 学 シ ス テ ム 工 学	8 月 18 日(火)	13:30-16:30	筆記試験（基礎部門）
		8 月 19 日(水)	9:00-11:00	筆記試験（専門部門）
		8 月 20 日(木)	後日通知	口頭試問
電気電子情報工学	電 気 工 学 電 子 工 学 情 報 ・ 通 信 工 学	8 月 18 日(火)	13:30-16:30	筆記試験（基礎部門）
		8 月 19 日(水)	9:00-12:00	筆記試験（専門部門）
		8 月 20 日(木)	後日通知	口頭試問
機械・航空宇宙工学	機 械 シ ス テ ム 工 学 マイクロ・ナノ機械理工学 航 空 宇 宙 工 学	8 月 18 日(火)	14:30-16:30	筆記試験（基礎部門）
		8 月 19 日(水)	9:00-12:00	筆記試験（専門部門）
		8 月 20 日(木)	後日通知	口頭試問
エネルギー理工学	エ ネ ル ギ ー 理 工 学 総 合 エ ネ ル ギ ー 工 学	8 月 18 日(火)	13:30-16:30	筆記試験（基礎部門）
		8 月 19 日(水)	9:00-11:30	筆記試験（専門部門）
		8 月 20 日(木)	後日通知	口頭試問
土 木 工 学	土 木 工 学	8 月 18 日(火)	13:30-16:30	筆記試験（基礎部門）
		8 月 19 日(水)	9:00-12:00	筆記試験（専門部門）
		8 月 20 日(木)	後日通知	口頭試問

※筆記試験の集合場所及び集合時間、口頭試問の詳細については、7月31日（金）以降に、工学研究科ホームページや各専攻からの専攻案内により通知する。

※口頭試問については、専攻によって8月21日（金）にも実施する場合があるため、留意すること。

〔筆記試験科目〕

系	専 攻	試 験 科 目	
化学生命工学	有 機 ・ 高 分 子 化 学 応 用 物 質 化 学 生 命 分 子 工 学	基礎部門	基礎無機・物理化学，基礎有機化学，基礎生化学の3科目から各2問出題される。この合計6問から自由に選択して4問を解答する。 出題範囲の詳細は専攻ホームページに掲載する。
		専門部門	無機・物理化学，有機化学，生化学の3科目から各2問出題される。この合計6問から自由に選択して4問を解答する。 出題範囲の詳細は専攻ホームページに掲載する。
物 理 工 学	応 用 物 理 学 物 質 科 学	基礎部門	・ 数学（線形代数，常微分方程式，微分・積分，初等ベクトル解析） ・ 力学（質点系の力学，微小振動，剛体の運動） ・ 電磁気学（静電気学，定常電流，電流と磁界，静磁場，電磁誘導）
		専門部門	次の4科目より各科目1問，全4問出題し，うち2問を選択，解答する。 1) 量子力学（波動方程式，固有値問題，角運動量，原子，摂動論および変分法） 2) 熱・統計力学（気体分子運動論，熱と仕事，熱力学関数，分配関数，ボルツマン統計，フェルミ統計とボーズ統計，相互作用する系） 3) 物性物理学（結晶構造，回折現象，格子振動，自由電子模型，周期場の電子，電気伝導，半導体の性質） 4) 応用数学（フーリエ解析，ラプラス変換，複素関数論，偏微分方程式）

マテリアル工学	材 料 デ ザ イ ン 工 学 物 質 プ ロ セ ス 工 学 化 学 シ ス テ ム 工 学	基礎部門	次の2科目全てを解答する。なお、出題範囲は括弧内とする。 1) 数学（微分・積分，常微分方程式，線形代数，ベクトル解析） 2) 物理化学《熱力学の基本法則と熱力学諸量，相平衡（状態図を含む），化学平衡（酸化還元を含む）》
		専門部門	次の4分野より，各1問を出題する。受験者は，4問中の2問を解答すること。 1) 固体物理学（結晶構造，X線回析，シュレーディンガー方程式，フォノン，比熱・熱伝導，電子構造と物性） 2) 流動と伝熱《レオロジー，流動の基礎方程式，管内流動（層流と乱流，流速および流量の計測，圧力損失と流体輸送），伝熱（伝導，対流，熱放射），総括熱伝達，熱交換》 3) 反応工学《化学反応速度論，各種反応器（回分型，連続槽型と管型），物質移動が関与する不均一相系反応，固体触媒反応》 4) 材料の力学《材料力学（組合わせ応力，はりの曲げ），材料強度学（応力とひずみ，転位とすべり変形，金属の強化機構）》
電気電子情報工学	電 気 工 学 電 子 工 学 情 報 ・ 通 信 工 学	基礎部門	次の2科目から，数学3問，電磁気学2問を出題する。計5問から3問を選択して解答する。出題範囲は（ ）内とする。出題範囲の詳細については，専攻案内を参照すること。 —数学（微積分，線形代数，微分方程式） —電磁気学（静電界，電流と磁界，電磁誘導と電磁波）
		専門部門	次の2グループ，計6科目から，各1問を出題する。計6問から3問を選択して解答する。 ただし，グループ1からの選択数は2問以下とする。 ・グループ1：電気回路，電子回路，論理回路 ・グループ2：電気エネルギー，電子物性，情報理論 出題範囲の詳細については，専攻案内を参照すること。

機械・航空宇宙工学	機 械 シ ス テ ム 工 学 マイクロ・ナノ機械理工学 航 空 宇 宙 工 学	基礎部門	数学（線形代数，常微分方程式，微分・積分，初等ベクトル解析から出題，全問解答） （詳細は「受験に際しての注意事項」で確認すること）
		専門部門	次の5科目から3科目を選択して解答する。 熱工学，流体力学，機械力学，制御工学，材料力学 【熱工学】熱平衡，理想気体と実在気体，熱力学第1法則，熱力学第2法則，熱サイクル，熱力学関数，相平衡と化学平衡，伝導伝熱，対流熱伝達 【流体力学】静水力学，質量保存則，運動量保存則，ベルヌーイの式，内部流れと損失，ナビエーストークス方程式とその層流解，境界層，揚力・抗力，次元解析と相似則 【機械力学】自由振動と強制振動，1自由度系の振動，固有角振動数，多自由度系の振動，モードベクトル，動吸振器，モード解析，ラグランジュ方程式 【制御工学】伝達関数および状態空間表現に基づく制御系の解析と設計 【材料力学】応力とひずみ，引張と圧縮，熱応力，トラス，組合せ応力，主応力，はりの曲げ，棒のねじり，柱の座屈，ひずみエネルギー
エネルギー理工学	エ ネ ル ギ ー 理 工 学 総 合 エ ネ ル ギ ー 工 学	基礎部門	次の3科目から5問を出題し，5問全てに解答する。 一数学（微分積分，線形代数学，ベクトル解析，微分方程式）2問 一物理（質点系の力学，剛体の運動，静電界と静磁界，電流と磁界，電磁誘導）2問 一化学《無機化学の基礎（原子・分子・固体の構造），量子化学の基礎（分子・固体の化学結合），化学平衡，反応速度論》1問
		専門部門	次の（1）と（2）を解答すること。ただし，（1）は必答であり，（2）は「材料科学」1問，「原子核工学」1問，「機械工学」1問，「電気工学」1問の合計4問から1問を選択する。 （1）エネルギーに関する総合問題（小論文を含む） （2）「材料科学」（物性物理学，統計力学，量子力学） 「原子核工学」（保健物理，放射線計測，原子核物理，原子炉物理，原子力工学） 「機械工学」（材料力学，流体力学，熱工学，熱力学） 「電気工学」（電気回路，電磁気学，プラズマ物理） なお，「材料科学」，「原子核工学」，「機械工学」，「電気工学」の出題範囲の詳細は，専攻案内を参照すること。

土 木 工 学	土 木 工 学	基礎部門	応用数学，小論文（詳細は専攻案内を参照すること）
		専門部門	専門部門 A（土木系）と専門部門 B（土木系以外）とに分けて試験を実施する。（詳細は専攻案内を参照すること）

※試験の解答は，黒色鉛筆またはシャープペンシルに限る。

※計算機器及び辞書類，スマートウォッチやスマートグラス等のウェアラブル端末は，専攻からの指示がある場合を除き使用できない。

B-11 試験会場

名古屋大学東山キャンパス（詳細は追って通知する。）

B-12 合格者発表

2026 年 9 月 4 日（金）正午

工学研究科ホームページに合格者の受験番号を掲示し，結果通知を本人宛に発送する。

合格者には入学意思確認の書類や奨学金関係の案内を同封する。

特に，入学意思確認に係る書類は 9 月下旬頃までに提出が必要であるため留意すること。

B-13 入学手続

2027 年 3 月上旬までに通知する。手続きは郵送により行う予定である。

入学手続き期間は 2027 年 3 月上旬から同月中旬までを予定している。

B-14 学生納付金

（1）入学科 282,000 円〔予定額〕

入学手続き時に納付する。国費留学生は納付不要。

（2）授業料 前期分 267,900 円（年額 535,800 円）〔予定額〕

入学後に口座振替（代行納付制度）により納付する。国費留学生は納付不要。

※入学時または在学中に金額の改定がある場合には，改定時から新たな納付金額が適用される。

B-15 その他

（1）受験上特別な配慮を必要とする者は，2026 年 6 月 19 日（金）までに 23 頁照会先まで申し出ること。

（2）名古屋大学（東海国立大学機構）では，「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理制度により，「東海国立大学機構安全保障輸出管理規程」（以下「規程」という。）を定め，貨物の輸出，技術の提供（人の受入を含む）について厳格な審査を実施している。規程に抵触する場合は，入学試験の選抜に合格しても入学が認められない又は入学後の研究活動等に制限がかかることがあるため，留意すること。詳細については，以下のウェブサイトを参照すること。なお，該当者には，個別に通知する。また，この場合も既納の検定料は返還しない。

（<https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/securityexport-extramural>）

【各選抜共通】

16 個人情報等の取扱い

住所・氏名・生年月日その他の個人情報及び出願書類に記載された研究経過の概要等については、入学選抜、合格発表、入学手続及びこれらに付随する事項や入学予定者向けイベントの周知にのみ利用する。取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には利用しない。

17 卓越大学院プログラムについて

卓越大学院プログラムは、文部科学省が2018年に導入した5年一貫の博士課程プログラムである。大学院生が研究と多様な能力の開発に打ち込めるようにするため、特別な経済的支援が用意され、さらに、TAやRAを通して指導能力を学び、追加の収入が得られるような仕組みが用意されている。工学研究科では、以下のプログラムに参画している（2025年12月時点）。

未来エレクトロニクス創成加速 DII 協働大学院プログラム（DII）

電子工学専攻、電気工学専攻、情報・通信工学専攻、物質科学専攻、応用物理学専攻、物質プロセス工学専攻、材料デザイン工学専攻、化学システム工学専攻、機械システム工学専攻、航空宇宙工学専攻、マイクロ・ナノ機械理工学専攻、エネルギー理工学専攻、総合エネルギー工学専攻は2018年度より本プログラムに参画している。詳細は以下のホームページを参照すること。

<https://www.dii.engg.nagoya-u.ac.jp>

トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラム（GTR）

有機・高分子化学専攻、応用物質化学専攻、生命分子工学専攻は2018年度より本プログラムに参画している。詳細は以下のホームページを参照すること。

<http://www.itbm.nagoya-u.ac.jp/gtr/>

ライフスタイル革命のため超学際移動イノベーション人材養成学位プログラム（TMI）

電気工学専攻、電子工学専攻、情報・通信工学専攻、機械システム工学専攻、マイクロ・ナノ機械理工学専攻、航空宇宙工学専攻、土木工学専攻は、2020年度より本プログラムに参画している。詳細は以下のホームページを参照すること。

<https://www.tmi.mirai.nagoya-u.ac.jp>

18 入学試験に関する照会先

（1）入学試験全般に関する照会先

名古屋大学工学部・工学研究科教務課（東山キャンパス ES 総合館3階）

〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町

電話 052-789-3978 E-mail : eng-admission(at)t.mail.nagoya-u.ac.jp

※(at)を@に換えること。

名古屋大学の夏季一斉休業期間や業務状況によっては、回答までに時間を要する場合がある。

(2) 入学試験過去問及び各専攻の入試情報照会先

専 攻	専 攻 別 入 試 情 報 U R L	メ ー ル ア ド レ ス
有機・高分子化学	https://www.chembio.nagoya-u.ac.jp/mmc_admit/	admission(at)chembio.nagoya-u.ac.jp
応用物質化学	https://www.chembio.nagoya-u.ac.jp/mc_admit/	
生命分子工学	https://www.chembio.nagoya-u.ac.jp/be_admit/	
応用物理学	https://www.ap.pse.nagoya-u.ac.jp/briefing.html	office(at)ap.pse.nagoya-u.ac.jp
物質科学	https://www.mp.pse.nagoya-u.ac.jp/graduate.html	office(at)mp.pse.nagoya-u.ac.jp
材料デザイン工学	https://www.material.nagoya-u.ac.jp/bosyuu.html	officemate(at)material.nagoya-u.ac.jp
物質プロセス工学		
化学システム工学		
電気工学	https://www.nuee.nagoya-u.ac.jp/g_admission/index.html	jimu(at)nuee.nagoya-u.ac.jp
電子工学		
情報・通信工学		
機械システム工学	https://www.mae.nagoya-u.ac.jp/ja/admission	mae_jimu(at)mae.nagoya-u.ac.jp
マイクロ・ナノ機械工学		
航空宇宙工学		
エネルギー理工学	https://www.energy.nagoya-u.ac.jp/admission	qjuken(at)energy.nagoya-u.ac.jp
総合エネルギー工学		
土木工学	https://www.civil.nagoya-u.ac.jp/admission/examination.html	jimu(at)civil.nagoya-u.ac.jp

※メールアドレスの(at)は@に換えること。

出願資格（９）により出願する者について

1) 出願資格（９）により出願する者は、次の要件を満たす者であること。

2027 年 3 月末日までに大学に 3 年以上在籍し、本学大学院が所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者。

2) 募集人員 若干名

3) 事前照会（審査）

次の書類を 2026 年 5 月 18 日（月）16 時必着で、工学部・工学研究科教務課入学試験係〔23 頁の 18 を参照〕あて郵送すること。（「簡易書留・速達郵便」とし、封筒の表に「出願資格（９）事前審査申請」と朱書きすること。）

（１）事前審査願（工学研究科ホームページ「出願書類一括ダウンロード」中の様式を使用する。）

（２）在学証明書原本

（３）成績証明書原本（在籍大学において、学部 2 年後期までのもの。）

（４）推薦書（工学研究科ホームページ「出願書類一括ダウンロード」中の様式を使用し、在籍大学において、学科主任や指導教員等が記載したもので厳封のものとする。）

（５）在籍大学における履修要覧（要項）等の写し

※（２）（３）（５）について、本学工学部在籍者は提出不要。

事前審査の結果は、2026 年 5 月 27 日（水）に本人あて発送する。

4) 出願書類及び出願方法

事前審査の結果、出願資格有とされた者は【B 一般選抜】に出願すること。出願は第 1 志望専攻のみ認め、成績証明書の提出は不要である。

5) 選考方法

第 1 次選考）一般選抜と同様の選考を行う。

第 2 次選考）学部 3 年次までの成績等によって選考を行う。

本学工学部以外に在籍している受験者は 2027 年 1 月 20 日（水）までに、次の書類を工学部・工学研究科教務課入学試験係あて提出すること。

①学部 3 年前期までの成績証明書原本

②学部 3 年後期分履修申告確認票の写し等（履修登録した授業科目等がわかるもの）

6) 合格者発表

第 1 次選考）2026 年 9 月 4 日（金）正午

工学研究科ホームページに合格者の受験番号を掲示し、結果通知を本人宛に発送する。

第 1 次選考通過者には第 2 次選考の受験意思確認書類を同封する。

第2次選考) 2027年3月4日(木) 正午

工学研究科ホームページに合格者の受験番号を掲示し、結果通知を本人宛に発送する。

7) 入学手続

合格者に対して、合格発表日に本人宛発送する。

入学手続きは郵送にて行う予定であるが、受付期間が短いため留意すること。

入学手続き期間は3月上旬から同月中旬までを予定している。

8) その他

①合格者は、2027年3月18日(木)までに、学部3年終了時までの成績証明書原本を工学部・工学研究科教務課入学試験係に提出すること。 ※本学工学部在籍者は提出不要。

②本受験資格により入学する者は、現在の在籍大学を退学することになり、種々の国家資格等に係る受験資格において、大学の学部卒業を要件にしているものについては、受験資格を得られないため、留意すること。

出願資格（10）により出願する者について

1) 出願資格（10）により出願する者は、次の要件を満たす者であること。

本研究科において、大学卒業と同等以上の学力があると認めた者で、2027 年 3 月末日までに 22 歳に達する者。

2) 個別審査

次の書類を 2026 年 5 月 18 日（月）16 時必着で、工学部・工学研究科教務課入学試験係〔23 頁の 18 を参照〕あて郵送すること。（「簡易書留・速達郵便」とし、封筒の表に「出願資格（10）個別審査申請」と朱書きすること。）

（1）個別審査願（工学研究科ホームページ「出願書類一括ダウンロード」中の様式を使用する。）

（2）履歴書（工学研究科ホームページ「出願書類一括ダウンロード」中の様式を使用する。）

（3）大学を卒業したものと同等以上の学力があることを示す資料

（a）履歴に短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校等の学歴を有する者

卒業（見込）または修了（見込）証明書原本、成績証明書原本、シラバス（授業要目）

（b）履歴に技術的・専門的職業についての職歴を有する者

当該期間及び職務内容を明記した在職証明書原本

（c）履歴に研究歴を有する者

研究歴証明書、研究実績調書、研究成果報告書

（工学研究科ホームページ「出願書類一括ダウンロード」中の様式を使用する。）

（d）業績として学術論文、著書、研究発表、特許、作品等を有する者

その写し

（4）その他、審査の参考となる資料（自薦、他薦による推薦書等）

個別審査の結果は、2026 年 5 月 27 日（水）に本人あて発送する。

3) 出願書類及び出願方法

個別審査の結果、出願資格有とされた者は【A 筆記試験免除者選抜】または【B 一般選抜】のどちらか一方に出願すること。

なお、この 2 つの選抜は出願期間及び選抜方法が異なるため、留意すること。

4) 選抜方法

出願した選抜による。12 頁「A－10」または 17 頁「B－10」を参照すること。

2027 年度 名古屋大学大学院工学研究科概要

大学院は学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめて文化の進展に寄与するとともに学術の研究者、高度の専門技術者及び教授者を養成することを目的とする。

本研究科には博士前期課程及び博士後期課程をおき、その修業年限は、博士前期課程は2年、博士後期課程は3年を標準とする。博士前期課程では学識及び研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養い、博士後期課程では研究者として、自立して研究活動を行うに必要な高度の能力及び豊かな学識を養うものである。

本研究科、各専攻の主な内容は次のとおりである。

専 攻 名	内 容	
有 機 ・ 高 分 子 化 学	有機構造化学，有機反応化学，触媒有機合成学，高分子物性学，機能高分子化学，高分子組織化学，超分子・高分子化学	
応 用 物 質 化 学	触媒設計学，材料設計化学，エネルギー変換化学，構造機能化学，機能材料化学，機能物質工学，多孔材料化学，超分子設計学，ラジカル化学	
生 命 分 子 工 学	生体分子応用化学，生命超分子化学，化学遺伝学，創発計測化学，分子生命環境プロセス	
応 用 物 理 学	物性基礎工学，量子物性工学，光物理工学，数理工学，構造物性工学，磁性材料工学，電子線ナノ物理工学，生体分子物理工学，低温物性工学	
物 質 科 学	高圧力物質科学，電子機能材料，ナノ電子デバイス工学，量子スピン物性工学，量子ビーム物性工学，材料設計工学，レオロジー物理工学，フロンティア計算物質科学，放射光応用物質科学	※
材 料 デ ザ イ ン 工 学	計算材料物性学，材質制御工学，ナノ構造制御学，シンクロトロン光応用工学，エネルギー機能設計工学，ナノイオニクス設計工学，材料加工工学，構造材料設計学 ^a	※
物 質 プ ロ セ ス 工 学	プロセス情報工学，速度過程工学 ^a ，高次構造設計・機能創成工学 ^a ，結晶成長情報工学 ^b ，エネルギー・環境材料創成工学 ^a ，物質創成ナノテクニクス工学，エネルギー変換・触媒材料創成工学，ナノスピ ン・磁性材料創成工学，機能性ナノ材料創成工学，ナノ構造設計プロセス工学	※
化 学 シ ス テ ム 工 学	循環システム工学，ナノ医工学，化学エネルギーシステム工学，化学反応システム工学，有機光電材料化学，界面システム工学，材料電気化学，界面・反応動力学，機能性マテリアル創成工学	
電 気 工 学	電気エネルギー貯蔵工学，エネルギー制御工学，電力機器・エネルギー伝送工学，エネルギーシステム工学，パワーエレクトロニクス，プラズマエネルギー工学，機能性・エネルギー材料工学，	

	核融合電磁物性工学，宇宙電磁観測，宇宙情報処理
電 子 工 学	プラズマエレクトロニクス，プラズマナノプロセス科学，生命エレクトロニクス，ナノバイオセンシング，機能集積デバイス，先端デバイス，量子光エレクトロニクス，量子集積デバイスシステム，光エレクトロニクス，ナノ情報デバイス，ナノスピndeデバイス，ナノ電子物性，ナノ電子デバイス
情 報 ・ 通 信 工 学	画像情報学，情報ネットワーク，先端情報環境，無線通信システム，通信理論，コンピュータ・アーキテクチャ，インテリジェントシステム，コンピューショナル・インテリジェンス，暗号・情報セキュリティ，制御システム
機 械 シ ス テ ム 工 学	熱制御工学，環境・エネルギー工学，複雑流体工学，固体力学，バイオメカニクス，計算力学，機械力学，自動車安全工学，サイバーロボティクス，動的システム制御，データ駆動システム，モビリティシステム，輸送現象工学
マ イ ク ロ ・ ナ ノ 機 械 理 工 学	マイクロ・ナノプロセス工学，生産プロセス工学，材料強度・評価学，センシング工学，流体システム工学，バイオサイバネティクス，知能ロボット学
航 空 宇 宙 工 学	流体力学，衝撃波・宇宙推進，推進エネルギーシステム工学，構造力学，生産工学，制御システム工学，宇宙航空機運動システム工学，先進複合材料，工作機械工学
エ ネ ル ギ ー 理 工 学	エネルギー機能材料工学，表面界面制御工学，ナノマテリアル科学，量子材料科学，ナノプロセス，応用核物理学，核データ計測，エネルギー熱流体工学，核融合炉心プラズマ工学，電磁流体工学，大規模シミュレーション，量子線計測・イメージング
総 合 エ ネ ル ギ ー 工 学	核融合プラズマ理工学，核融合炉工学，プラズマ計測，原子力安全工学，原子炉物理学，中性子医療応用，マイクロエネルギー応用工学，同位体科学，エネルギー資源循環，環境調和型材料化学，放射光分析科学，量子ビーム理工学
土 木 工 学	構造工学，材料・形態学，海岸・海洋工学，流域保全学，地盤工学，国土防災安全工学，地圏環境保全学，社会基盤計画学，社会基盤設計学，社会基盤維持管理学，国際環境協力学，国土デザイン学，水質保全工学

※a：産総研連携大学院講座を含む

本研究科博士前期課程において、基礎科目、専門科目、総合工学科目等で、所定の学科目で30単位以上を修得し、かつ学位論文の作成等に対する指導を受けたうえ論文を提出して学位試験に合格した者には、修士（工学）の学位を与える。

博士前期課程又は修士課程を経たうえ、さらに選考により博士後期課程に進学又は入学することができる。博士後期課程において、専門科目につき所定の単位を修得し、かつ、学位論文の作成等に対する指導を受けたうえ論文を提出し学位試験に合格した者には、博士（工学）の学位を与える。

工学部・工学研究科キャンパスマップ



「名古屋駅」方面から

地下鉄東山線「本山」駅下車

名城線右回り乗り換え「名古屋大学」駅下車 所要時間：約25分

「金山」方面から

地下鉄名城線左回り「名古屋大学」駅下車

所要時間：約24分

中部国際空港「セントレア」方面から

名鉄空港線「中部国際空港」駅より名鉄本線「金山」駅下車

地下鉄名城線左回り「名古屋大学」駅下車 所要時間：約60分

- 大学構内における教育・研究環境の安全と静謐を保持するため、また、市街地に位置するため駐車スペースに限りがあることから、原則公共交通機関での来校をお願いしております。
- 来学時の路上駐車、コンビニ等への駐車に対する苦情が寄せられております。近隣の迷惑となる駐車はご遠慮ください。